

2013. 8【vol.38】

# 水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社 発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

## index

- |  |    |
|--|----|
| 1. 関西支社管内の気象と水源状況                                  | 1p |
| 2. 取組成果報告会の開催報告について                                | 2p |
| 3. びわ湖の自然が育ててきたもの（その3）<br>— 講演会「木地師の郷の生きものと森林文化」 — | 3p |
| 4. 水源地マラソン紀行（その14） ～ 淀川番外編 ～                       | 4p |
| 5. イベント情報  | 5p |
| 編集後記   |    |



水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

# 1. 関西支社管内の気象と水源状況

7月の気象状況は、気象庁の発表によると、月を通して梅雨前線が日本海から東北地方に停滞することが多く、太平洋高気圧が西日本を中心に張り出した影響で晴れの日が多く高温で猛暑日となる所がありました。また、西日本の太平洋側では降水量がかなり少なく平年を下回りました。

関西支社管内の水源における月間の降水量は、琵琶湖を除く水源において、平年降水量を大きく下回りました。

各ダムの貯水率は平年の貯水率を若干下回って推移しておりますが、今のところ渇水などの影響はありません。

## ～ 水資源機構(関西支社管内)の水源状況 ～

平成25年8月12日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m <sup>3</sup> )	貯水率(%) <sup>※2</sup>	降水量(mm) <sup>※3</sup>	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	115.20	1,135	82.3	78	195
青蓮寺ダム	271.89	1,455	94.5	72	197
室生ダム	288.72	746	91.6	84	188
布目ダム	279.07	890	89.1	66	185
比奈知ダム	289.64	806	85.8	85	195
一庫ダム	134.79	1,290	97.0	93	176
日吉ダム	178.26	1,566	97.9	101	154
琵琶湖	B.S.L. -14cm	—	—	208.0	209.0
7ダム 合計	—	7,888	91.7%	—	—

※1 琵琶湖水位は、8月12日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、6月16日からの夏期に必要な利水容量で計算しています。

※3 降水量については、7月1日～7月31日までの累計値で、琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

水資源機構の関西支社管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(関西支社 施設管理課)

## 2. 取組成果報告会の開催報告について

7月24日(水)に、大阪市内のクリエイティブネットワークセンター大阪(メビック扇町)で、「水資源機構における水質保全対策の取組成果報告会」を実施いたしました。

この報告会は、水資源機構の第2期中期計画期間(平成20～24年度)において、水質異常の発生抑制に向けた取組を重点プロジェクトと位置付けて推進しており、積立金※を活用した実証実験を通して、新たな技術や知見も得られたことから、その成果について各利水者・関係者の皆様に対して報告を行い、今後の水質改善に向けて情報共有を図ることを目的として開催し、44名の皆様にご出席をいただきました。

当機構の本社環境室からは、「アオコ・カビ臭問題」、「淡水赤潮問題」、「嫌気化・堆砂土砂・濁水等問題」について、当機構における事例の報告のほか、関西支社管内の各事務所で実施している水質改善に向けた対策として、「曝気によるアオコ・カビ臭発生抑制」、「マイクロバブルによる嫌気化対策」、「浅層併用型深層曝気の開発」について事例報告を行いました。

また、水資源開発施設における「ダム貯水池のピコプランクトン」の研究成果報告や「ダム貯水池における水質予測モデル」の紹介も併せて行いました。

質疑では、「植物プランクトンが発生しにくい環境とは、どんな状況なのか。」、「ピコプランクトンの調査では、どのくらいのメッシュのフィルターを使っているのか。」などの多数のご質問をいただき、水源地の水質への関心の高さを改めて実感しました。

また、参加いただいた方々からのアンケートでは、「ダム内の水質対策の情報共有の機会があまりないため、非常に意義がある報告会であり、今後も継続してほしい。」とのご意見もありました。会場の都合上、限られた時間ではありましたが、非常に有意義な情報や意見交換がされたと感じております。

今後においても、当機構では、利水者の皆様へ安全で良質な水をお届けするため、より良い水質の確保に努めていきます。

(施設管理課・利水者サービス課)



水質保全対策の取組事例を報告



質疑応答の様子

積立金※とは、独立行政法人通則法第44条の規定により、決算において利益が生じた場合に、利益剰余金の一部として計上されるものです。

### 3. びわ湖の自然が育んできたもの（その3）

#### － 講演会「木地師の郷の生きものと森林文化」－

平成 25 年 7 月 15 日、滋賀県東近江市蛭谷(ひるたに)町で行われた「第 21 回惟喬(これたか)親王祭」に今年も参加してきました。

祭りと言っても、御輿や踊りがある祭りとは異なり、「木地師(きじし)」の発祥地であるとされるこの蛭谷において、惟喬親王※に思いを偲ばせ、自然の恵みに感謝し、木地という伝統工芸を見つめ直すという感慨深い催しです。

この中で、「空と森の王者イヌワシとクマタカ」(サンライズ出版)の著者である山崎亨(とおる)氏による「木地師の郷の生きものと森林文化」と題した講演会が行われました。

木地とは、ろくろを用いて、木材をお椀や盆、こけしなどの木工製品に加工したものです(詳しくは水レター vol.26 号を参照ください)。

この木地の生まれた鈴鹿山脈一帯は、植物の数がおよそ 1,800 種と言われており、非常に多種多様な植物が生育しています(伊吹山は約 1,300 種)。なぜこれほど植物の数が多いかというと、気象的な要素、多様な地形が存在していることに加え、木地師たちが、古くから自然の恵を持続的に利用するという考えに基づき適正な森林の管理を行っていたことにより、生物の多様性が育まれたそうです。

ところが今、鈴鹿山脈に生息するイヌワシは、山崎氏が 37 年前に初めて発見したときと比べ、生息するつがいの数が激減していることが確認されています。これは、戦後の拡大造林政策で広葉樹を大量に伐採し、杉を植林しましたが、昭和 50 年代から、国産の材木が売れなくなり、伐期を迎えても伐採されず、成熟した杉ばかりとなったため、イヌワシの生息環境が悪化し、食物が獲れなくなったことが原因であるとのこと。

山崎氏は講演会で、生物の多様性に富む元気な森林をもう一度再生させるには、全国各地の木地師の方々が、千年以上にわたって育んできた豊かな森林資源を最大限かつ安定的に利用するという森林文化を学び、現在に即した新しい森林文化を創っていくことが必要であると強調されていました。

講演を拝聴し改めて感じたことは、伝統工芸は人々の営みと自然環境の関わりが深く、相互のバランスを保ち共存していくことが重要であること、歴史や伝統工芸を通して、先人の知恵を若い世代を含めもっと学ばなければならないことです。

この祭りは、過疎に悩む地元の方々とボランティアの方々によって運営されており、今回の活動に尽力された皆様に敬意を表します。

関西支社では、今後とも琵琶湖・淀川流域における水質の保全に不可欠な流域の自然の現状や課題について発信してまいります。

(利水者サービス課 今井)



※ 惟喬親王は、844 年、第五十五代文徳(もんとく)天皇の長子としてお生まれになりましたが、弟宮・惟仁(これひと)親王(後の清和天皇)が皇位を継承されたため、都を離れられた親王は「悲運の皇子」として、様々な伝説が全国各地に語り継がれています。

## 4. 水源地マラソン紀行 (その14) ~ 淀川番外編 ~

前号では、秋のレースまで休刊とお知らせしていましたが、シーズンオフの間も連載を希望される読者の声がありましたので(?)、数話書いてみたいと思います。

まず、初めの一話は、今年の 11 月3日(土)に行われた『加古川みなもロードハーフマラソン』の様をお伝えします。



昨年は、大阪マラソンの抽選に当たったこともあり、大阪マラソンで好記録を出すために、埼玉県庁の川内選手のように、オリンピックの本番までに数多くのレースに出場し、より強い負荷をかけ、脚力アップする計画でした。10月から大阪マラソンまで、3週間に2大会のペースでエントリーしていましたが、その一つがこのレースです。

いつもは、かみさんも一緒に出場するのですが、かみさんは私とは逆で、大阪マラソンの前に体調を崩したくないという理由から、今回のレースはおろか10月に1レースを走っただけで本番を迎えます。

よって、今回は寂しく一人旅。私は、これまで加古川へ行ったこともなく、土地勘も全く無いところで。JRで加古川駅まで向かいますが、加古川駅から会場まで、路線バスも時間どおりに来ないため、レースに出場するランナーを集めてタクシーに乗り合い会場まで向かいます。なんとも不安な序盤ですが、タクシーの中では乗り合った方々と直ぐに意気投合し、会場に着く頃には心細さも解消です。

当日は少し風があるものの、快晴で、まさにマラソン日和です。ハーフマラソン男子は470名が参加する小規模のレースですが、河川敷というフラットなコースで道路幅も広く、とても走りやすいためウォーミングアップも快調です。いよいよスタート。途中、国土交通省近畿地方整備局が管理する加古川大堰(幅 422m)を通過します。加古川大堰の位置は河口から 12km 上流に位置しますが、スタート地点から大堰までは約8kmです。この大堰の少し手前から向かい風で失速しますが、折り返してからは何とかペースを維持してゴールです。自己記録の更新にはなりませんでしたが、大阪マラソンへの手応えを感じたレースでした。

帰りはバスもタクシーも無いので徒歩で加古川駅へ向かいます。

ところで、加古川と言ったらB級グルメの王様「かつめし」です。かつめしとは、ご飯の上にビーフカツかポークカツがのり、その上にデミグラスソースがかかった加古川のご当地グルメで、不肖、私の大好物です。今回は下調べまでして、レース後に食べることにしていました。調べておいた店にはレースとは違い失速しないで到着し、迷い無く「ポークかつめし」を注文。へたれランナーにはもったいないご褒美です。是非、皆様も加古川に行ったら食べてみて下さい。「かつめし」マップもあり、街全体が「かつめし」で賑わっています。

また、帰りの電車では何と、行きのタクシーで知り合った奈良のランナーの方が隣席となり、マラソン談義で盛り上がったうえに、マラソン攻略の秘伝を伝授していただきました。

ほんとうに楽しい一日となりました。

次回は、大阪マラソン苦闘編を予定しています。



(ダムを走る男)

# 5. イベント情報

8月・9月に予定されているイベントなどをご紹介します。



開催時期	行事名・主催	開催場所	概要
8月19日(月)	あやめ浜まつり NPO法人家棟川流域観光船	滋賀県野洲市菖蒲浜 参加費 一人 500円	漁船クルージング、ジミつかみ(有料)や湖魚を使った伝統食の試食など
(TOTO水環境基金HP) <a href="http://www.toto.co.jp/company/environment/social/mizukikin/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/environment/social/mizukikin/index.htm</a>			
8月25日(日)	”美しい猪名川を” 第7回流木ペインティング大会 一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会	兵庫県川西市黒川 チヨウコ 知明湖キャンプ場	ダム湖に流入した流木を使った作品作りと会場周辺の清掃活動
(一庫ダムHP) <a href="http://www.water.go.jp/kansai/hitokura/mt/index.html">http://www.water.go.jp/kansai/hitokura/mt/index.html</a>			
8月31日(土)	宇陀市 ゆうゆうまつり 宇陀市	奈良県宇陀市榛原松牧 平成榛原子供のもり公園	スタンプラリーや色々な催し物、飲食店などの外たくさん出店します。
(宇陀市HP) <a href="http://www.city.uda.nara.jp/kouen/kyouiku/leisure/kouen/kodomonomori.html">http://www.city.uda.nara.jp/kouen/kyouiku/leisure/kouen/kodomonomori.html</a>			
9月14日(土)	ヤナムネワ 家棟川ビオトープ観察会 滋賀県自然環境研究会外	滋賀県野洲市 参加費 小学生以上 200円	家棟川の自然や魚の観察、ビオトープ内で魚貝類や昆虫の採取と観察、野草の天ぷらの試食など
(滋賀県HP) <a href="http://www.pref.shiga.lg.jp/h/kako/kankyo/yanamune/h25yanamune130914.html">http://www.pref.shiga.lg.jp/h/kako/kankyo/yanamune/h25yanamune130914.html</a>			

お出かけの際には是非お立ち寄りください。



日吉ダムインフォギャラリー	日吉ダムでは、いつでも(休館日・閉館時間を除き)ダムの内部を見学できます。
京都府南丹市日吉町	開館時間は、午前10時から午後4時まで(入館無料)
日吉ダム	休館日は、毎週水曜日(祝日と重なる場合は翌平日)及び年末年始(12/29~1/3)
(日吉ダムHP) <a href="http://www.water.go.jp/kansai/hiyoshi/html/infovisitor/infogallery.html">http://www.water.go.jp/kansai/hiyoshi/html/infovisitor/infogallery.html</a>	
水のめぐみ館 アクア琵琶	琵琶湖の歴史や生き物などについて学ぶことができます。
滋賀県 大津市黒津4丁目2番2号	開館時間は、9時30分から午後4時30分まで(入館無料) 休館日は、土曜日、日曜日、祝日、12月28日から1月4日まで
詳しくは → (アクア琵琶HP) <a href="http://www.aquabiwa.jp/index.html">http://www.aquabiwa.jp/index.html</a>	
津波・高波ステーション	大阪は、海面より低い土地が多いことから、いざというときのために災害への備えを学ばれてはいかがでしょうか。
大阪市西区 江之子島2丁目1番64号 大阪府西大阪治水事務所内	開館時間は、10時から16時まで(入館無料) 休館日は、月曜日(祝・休日の場合は翌平日)
詳しくは → (大阪府HP) <a href="http://www.pref.osaka.jp/nishiosaka/tsunami/">http://www.pref.osaka.jp/nishiosaka/tsunami/</a>	

## 編集後記

先日、あるイベントで親しくなった大学生との会話から懐かしいことを思い出しました。イベントも終わり、送迎のシャトルバスで私がウォークマンを聴いていると隣席から

(彼)「何聴いてるんっすか?」、(私)「ラジオ。」、(彼)「ぷっ。」

(えっ、今笑うところ?若い人達はラジオを聴かないの?いやそんなことはないはず。気を取り直して…。)

(彼)「音楽は何を聴くんっすか。」、(私)「若い頃はハードロック系を聞いていたけど、今は何でも聴くね。」、(彼)「へえ〜っ、まじっすか。自分、ギター弾いていて80'Sが好きなんっすよ。」、(私)「若いのに80'Sなの」、(彼)「ハードロック系は誰を聴いているっすか。」、(私)「有名なところだとBON JOVI、ホワイトスネーク、Def Leppardとかだね。」、(彼)「まじっすか。(￣ー+￣)フッ」

(長くなるので中略)

(私)「当時は、カセットテープがすり切れるまで聴いたね。」、「何すかテープって、俺らCDからしか知らねえし。」、(私)「えっ、メタル、ハイポジ、ノーマルとかあってね…。」(彼)「そんな種類があるの?」、(私)「そう、メタルが一番音が良いけど高くてね…。最近では売ってないか…。」

(沈黙。)(完全に外した…。)

ふと我に返って、彼の年齢は私と倍半分以上違い、どちらかというとな彼のお母さんと私の年齢が近いということ思い出しましたが…。しかも気が付けば私の周りの席の若者達も沈黙…。

思い返せば、8トラック、カセットテープ、LD、CD、DATテープ、MD、DVD、SDカード、フラッシュメモリ、HDなど、様々なオーディオ用のメディアが現れ、今は、私自身もCDやフラッシュメモリを使用していますが、青春時代をカセットテープと共に過ごした私としては、カセットテープがこの世から消えていってしまうのかと寂しく思った一時でした。

オーディオメーカーのトリオがケンウッドに社名変更したあの頃、当時は、まだ高価だったCDプレーヤーを購入した同級生が、「コンパクトCD買ったぜ。」と自慢していた会話が懐かしく思い出されます。

(五代目 百式)



虹の松原(佐賀県)



水資源機構ツイッター

[http://twitter.com/jwa\\_PR](http://twitter.com/jwa_PR)

水資源機構関西支社

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai>

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。(耳寄りな情報もお待ちしております。)

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp